

事業番号	04 01 01		事業改善シート（28年度実施事業分）		□予算要求		□当初予算案		□補正予算案		■点検	
事業名	芸術文化活動推進事業					担当課	部局	県民文化部				
							課・局・室	文化政策課				
総合5か年計画	プロジェクト	2－2－4 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6－5－2 誇りある暮らし実現プロジェクト					E-mail	<a href="mailto:bunka@pref.nagano.lg.jp">bunka@pref.nagano.lg.jp</a>				
	施策の総合的展開	7－3生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 2 文化芸術の振興										
								実施期間	S55 ～			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		1－4 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造									
	施策展開		2－(1) 多様な人材の定着 （イ）多様なライフスタイルの展開 4－(2)信州に根付くつながりの継承 （ウ）文化・芸術・スポーツ活動等による地域活性化									

1 事業の概要

目指す姿	優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会を広く県民に提供し、心豊かな暮らしの実現を目指す。 成果目標：文化芸術活動に参加した人の割合　62.5% (H24) →70.0% (H29)						
現状 (予算編成時)	県民が芸術や文化に親しむとともに、文化芸術活動に参加し個性豊かな創造性を発揮できる環境が求められている。						
県が関与 する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 文化芸術基本法、長野県文化芸術振興指針					
	県民との協働による実施：実施は困難						
成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H28)						
	○県民芸術祭参加者数:221,600人(これまでの政策評価における5年間の目標(1,108,000人)を単年度換算して設定) ○県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業参加者数:2,400人(過去平均2,200人+高校選抜オーケストラ演奏会200人) ○伊那文化会館芸術鑑賞促進事業鑑賞者数:1,100人(H26実績1,103人) ○セイジ・オザワ 松本フェスティバル鑑賞者数:90,000人(実行委員会設定値:目安値) ○巡回公演の集客率:70%(自治総合センター助成事業の収入見込における有料入場数割合65%を基に設定)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)		H28 (決算)	H29 (当初)
	1.文化振興基金活用事業	直接委託・負担金・補助金	・文化振興基金を活用した事業を実施 芸術監督団配置事業 アーツカウンシル設置検討事業(委託先:株式会社ニッセイ基礎研究所) 信州文化会館ネットワーク事業 信州ミュージアムネットワーク事業 若手芸術家活動支援プロジェクト事業 県民芸術祭開催事業 県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業 山岳文化創生事業 G7交通大臣会合ウェルカムコンサート開催事業	68,553	57,196	73,116	
	2.日露交歓コンサート2016開催事業	委託	・ロシアの一流音楽家が出演する「日露交歓コンサート」を開催 委託先:(一財)長野県文化振興事業団	4,000	4,000	0	
	3.セイジ・オザワ 松本フェスティバル共催負担金	負担金	・セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催 負担先(2016セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会)	100,000	100,000	100,000	
	4.伊那文化会館芸術鑑賞促進事業共催負担金	負担金	・オペラ&ガラコンサート「カガアリア・ルスチカーナ」開催 負担先((一財)長野県文化振興事業団)	4,000	4,000	4,000	
	5.首都圏における文化芸術発信事業	負担金	・銀座NAGANOを活用した本県文化芸術の魅力発信 負担先(県内アートライン協議会)	2,160	2,160	0	
	6.地域創造負担金	負担金	・(一財)地域創造の事業の拡充・強化を図るため負担金を拠出。負担先((一財)地域創造)	9,664	9,664	9,425	
	7.その他共通経費	直接	・文化振興事務嘱託員の配置、旅費・需用費、コピー代、基金運用益積立等	3,681	3,594	3,715	
	8.若手芸術家・観光コラボレーション事業	委託	—	0	0	0	
	9.アーティスト・イン・レジデンス in 信州(AIRIS)モデル事業	負担金補助金	・文化芸術による地方創生のため、アーティスト・イン・レジデンスin信州(AIRIS)のモデル事業を大町市等と協働して実施(H27からの繰越))	0	7,207	10,000	
	10.「地域の文化拠点」活性化事業	負担金	・芸術監督団が企画・実施する戦略的な巡回公演の実施及び文化施設スタッフ研修等の人材育成、文化芸術による地域振興を考える対話集会の開催(平成28年度11月補正)	0	21,500	0	
11.文化振興基金積立	直接	・複数年を見通した文化振興事業を計画的・安定的に実施するため、文化振興基金を積み増し(平成28年度2月補正)	0	200,000	0		
		合計	192,058	409,321	200,256		

事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度
	予算額	前年度繰越		13,188	
		当初予算		151,589	192,058
		補正予算		202,361	215,852
		合計(A)		353,950	421,098
	Aの財源	一般財源		284,471	305,546
		県債			
		国庫支出金		13,188	22,798
		その他		56,291	92,754
	決算額(B)		338,705	409,321	
ト	概算人件費	職員数(人)	2.70	3.50	2.50
		概算人件費(C)	22,345	27,699	19,785
	概算事業費(B(A)+C)		361,050	437,020	220,041

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
			目標	成果	達成状況	
県民芸術祭の参加者数	188,325人	204,135人	221,600人	221,264人	未達成	221,600人
県文・ウィーン姉妹提携事業参加者数	2,126人	3,200人	2,400人	1,707人	未達成	2,400人
伊那文オペラ鑑賞者数	1,103人	607人	1,100人	430人	未達成	1,100人
セイジ・オザワ 松本フェスティバル鑑賞者数	54,274人	83,272人	90,000人	88,985人	未達成	90,000人
新たな創造発信企画事業の実施	—	—	4か所	4か所	達成	
巡回公演の集客率	—	—	70%	75%	達成	

目標に対する成果の状況	<div>・県民芸術祭は、近年参加者数が増加傾向にあるものの、参加団体が横ばい傾向にあることなどから、目標達成には至らなかった。</div> <div>・県文・ウィーン姉妹提携事業については、計画していた2公演のコンサートが実施されなかったことなどから、目標達成には至らなかった。</div> <div>・伊那文オペラについては、これまでの集客力のある海外オペラ公演から、演目変更されたことなどから、目標達成には至らなかった。</div> <div>・セイジ・オザワ 松本フェスティバルは、1月の特別講演の実施等により前年度の参加者を上回ったものの、公演数が減少傾向にあることなどから、目標達成には至らなかった。</div> <div>・新たな創造発信企画事業は、芸術監督団の企画による先駆的な演劇公演を4か所で実施して目標を達成することができた。また、同公演の集客率についても、目標を達成することができた。</div>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<div><input type="checkbox"/> 事業を実施しない    <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施    <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</div>
	<div>・平成27年度に「文化振興元年」としてスタートした文化振興の取組をさらに推進するため、芸術監督団による事業を展開するなど人材育成や文化芸術に親しむ人々の拡大、文化芸術の創造性を活かした地域づくりに取り組みます。</div> <div>・特に文化施設、又は美術館の連携事業や文化の担い手の育成などを行い、多くの県民が参加できる事業の充実を目指します。</div>